2025(令和7)年度 スローガン

ひょうごID陸上競技協会(旧名称「兵庫県知的障がい者陸上競技協会」)は、2016(平成28)年6月4日に誕生し、今年9年目に入りました。

選手の皆様をはじめとして、競技役員や学生ボランティア、指導者、ご家族等の皆様のご理解とご協力により今日まで活動を続けることができましたこと、感謝のことばしかありません。

選手にあっては、アスリートの頂点をめざしジャパンパラ陸上や日本ID陸上等の選手権大会に果敢に挑戦し素晴らしい成果を得た者もあり、また、一方自分のペースで地道に練習に励み自らの目標をめざして頑張っている者もいます。

いずれにしても陸上というものをこよなく愛しひたむきに努力を重ねる姿には素晴らしいものがあります。

私どもひょうごID陸上に集う者は彼ら彼女らの情熱と真摯な姿に共感し支援していくためパフォーマンスの場として大会等の機会を設け取り組んできました。

このたび、会長をはじめ役員交代がありますが、新たに選出される会長を中心に組織・運営上の様々な課題について取り組んでいくとともに、来年度設立10年という節目を迎えるにあたり従来から提唱してきている「インクルージョン」「フォーオール」という考えに基づいた記念イベント等の取組について検討していきたいと考えます。

以下に今年度重点的に取り組むべき課題について列記します。

1 参加選手の拡大をめざす

兵庫県並びに神戸市の特別支援学校生徒等への周知、参加依頼を図る。

2 競技役員等の拡大をすすめる

大会競技役員の増員により選手の競技種目の拡大や複数エントリーが可能となるため、校長会等での依頼をすすめる。

3 財源の確保をすすめる

選手登録料・参加料や協賛金等に頼る現状から(公財)兵庫県障害者スポーツ協会等だけでなく、他の助成金や企業からの支援を受けられるよう取り組んでいく。

4 事務局体制を整える

これまでの事務局業務を見直し、事務の軽減を図り一部の者に偏っていた業務を分担していけるよう共有化し相互補完できる体制づくりをすすめる。

5 10年目の記念イベントを企画する

2026(令和8)年度、本協会設立10年目を迎えるにあたり、広く県民にも呼びかけ、障がいの有無にかかわらず、だれもがスポーツの楽しさと、共にスポーツをすることの喜びを体感する機会を得るイベントの企画をすすめる。

以上の重点目標達成のために共に取り組んでいきましょう。